



ひばり

若松小学校・府中第二小学校
特別支援教室「ひばり」教室便り

令和7年 2月3日 No.10
府中市立若松小学校

あっという間に短い3学期もいよいよ後半に入ります。そろそろ在籍学級でもひばりでも、1年間のまとめを行う時期です。ひばりでは、低中学年グループも、高学年グループも、今まで学んできたことを生かして、グループ全員で協力しながら取り組む活動を中心に学習を行っていきます。友達や周囲の人との関わりを通して、できるようになったことを実感したり、自分の成長を振り返らせたりしながら、次の学年や新たな環境での頑張りにつなげていきたいと考えています。

まだまだ寒い日が続きますので、引き続き、感染症対策を徹底するとともに、子どもたちが体調を整えて、心も体も安定した学校生活が送れるよう留意していきます。ご家庭でも十分な睡眠の確保など、ご協力の程よろしくお願いします。

2月の学習内容



低・中学年グループ		高学年グループ	
個別学習	○個に応じた課題、運動など	個別学習	○個に応じた課題、運動など
小集団学習	☐ 他者の受け入れ・理解、社会性を育てるための指導 ○相談の仕方『ペア・チームで神経衰弱』 ○こんなときどうする？ ○『ひばり・ザ・ミッション』	小集団学習	☐ 他者の受け入れ・理解、社会性を育てるための指導 ○相談・協力 『ひばり・ザ・ミッション超』 ○こんなときどうする？



2、3月の予定



2月17日(月) 二小 振替休業日(二小指導なし)

19日(水) 月曜グループ振替指導 (水曜グループの指導はありません)

3月13日(木) 月曜グループ振替指導 (木曜グループの指導はありません)

ひばり3学期指導終了

14日(金)、17日(月)～19日(水)、21日(金)午後

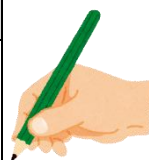
ひばり個人面談(原則、全てのご家庭と面談します)

※現時点では、希望する全てのご家庭と面談を行う予定ですが、教員の育業等もあり、期間の変更等が生じる場合もありますので、ご理解いただけますと幸いです。詳細は追ってご連絡します。

3学期ひばり指導終了日



月曜グループ	火曜グループ	水曜グループ	木曜グループ	金曜グループ
3/13	3/11	3/12	3/6	午前グループ: 3/7 午後グループ: 2/28 ※3/7 は避難訓練一斉下校のため 午後グループ指導なし





1月のひばり学習会 ご参加ありがとうございました！

1月15日(水)に開催した「令和6年度ひばり学習会」には、保護者の方をはじめ、若松小、二小、市外の先生方など多くの方々のご参加をいただきありがとうございました。

今回、府中療育センター小児科の栗原亜紀先生から「診察室から学校へのメッセージ～発達の偏りのある児童の理解と手立て～」というお話をいただきました。子供たちの発達に専門性が高い現役の小児科のドクターという視点から、子供たちへの支援の仕方等について具体的で、分かりやすいお話を聞かせていただきました。今回、ご多用でご参加いただけなかった保護者の皆様にも、ひばり連絡帳に資料をお入れしましたので、ぜひともご一読ください。栗原先生のお話から、こちらには載せきれないほどたくさんのことを教えていただきました。その中で、特に印象的だったお話を一部抜粋してご紹介します。

◎まず、大きな前提として、発達の偏りがあるお子さんに対する保護者や教員、周囲の大人の正しい理解と協力があれば、適切な声掛けや環境調整次第で発達とともに改善し得る、変化し得るものである。

◎「周囲の大人たちに何ができるのか」以下の3つが大切。

①療育 ②環境調整 ③服薬(①と②を踏まえたうえで)

この3つの支援が適切に行え、子供たちが大きく変わっていくことが多い。早期の支援であればあるほど変化が見られやすい。

◎大人のかかわり・・・大人が声をかけた行動(ほめたことも・叱ったこともどちらも)が増えると思ってよい。叱れば叱るほどその行動が増えることがある。

◎たくさん叱られると自己調整能力をつかさどる「前頭前野」の発達に支障をきたす。

◎服薬の効果

服薬によって神経伝達物質が適切に伝達され、自分が出した脳の指令が全身に届きやすくなる。本来自分がやろうとしていたことがスムーズにできるようにするのを手助けしてくれる。子供たちの持っている力を発揮する効果が見込まれる。

◎子供たちをサポートするうえで大事なことは「本人が楽しみながらできること」「子供も親も先生も、一緒に笑顔で楽しく過ごすこと」⇒脳の発達を促すホルモンがたくさん分泌される!!

楽しく取り組むことが、子供たちのもつ力をさらに伸ばすために大きな力になる。

また、学習会に参加された方から寄せられたアンケートを一部抜粋という形で載せさせていただきます。

- ・最近怒りすぎているなど思うので、「楽しいことが一番大事」にハッとさせられました。わかっているけどなかなかできない現実ですが、望ましい行動を書き出して、まずほめていくことをやっていきたいと思います。
- ・お薬のことがよく分からなかったので、詳しく教えていただけてよかったです。
- ・薬についても病院の先生からの説明で、理解していても抵抗があったのですが、上手に付き合っていきたいと思えるようになりました。
- ・自分の本当の気持ちを表現できるようになることが一番大切だと言うことが改めてわかりました。毎日忙しくてそこまで気が回らないことも多々あるのですが、とにかく子どもと会話できるよう心がけたいと思います。
- ・本や講演会で、子供側の気持ちや行動の理由などを学ぶこともありますが、今回は周りの人間が子供にどのように介入していくかをとても詳しく学ぶことができました。日々の生活で課題が多く、心が折れそうな時もあるのですが、脳は楽しい時に発達するという先生のお言葉に勇気をもらいました。これからも親子共々成長していきたいです。

☆この他にもたくさんのご感想をお寄せいただきました。ありがとうございました。

